

普通科 1年 SSグローバル教養I (音楽) 学習指導案

授業者 音楽科教諭

- 1 日 時 令和元年6月26日 水曜日 第5時限
- 2 場 所 音楽室
- 3 学 級 普通科 1年生 (40名)
- 4 使用教材 自作プリント・「クラッピング・カルテット第1番」の楽譜
- 5 本時の目標
 - ・音楽を構成する三大要素のひとつ、リズムに焦点を当て、その特徴を知り、面白さを味わわせる。
 - ・楽譜を科学的に分析することによって、アンサンブルの基礎を身に付けさせる。
- 6 本時の展開

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点
導入 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の目標を確認する。 ・題材となる楽譜について演奏法を確認し、効果的な反復練習の進め方について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を構成する三大要素について、基本的なことが理解できているか、発表の様子から確かめる。 ・リズムアンサンブル楽譜の演奏法について理解しているか、演奏の様子から確かめる。
展開1 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・1班4人のグループを組み、各グループ内で担当パートを決定後、反復練習を行う。 ・楽譜の構成について考察し、意見を出し合って練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を漫然と練習するのではなく、練習番号ごとに細かく区切り、小さな成功の積み重ねが、やがて大きな達成感につながることを伝える。 ・間違った場合や、リズムパターンが分からない場合は必ず自己申告をし、該当部分を理解した上で反復練習するのがアンサンブルの基本であることを伝える。 ・楽譜を科学的に捉え、同じリズムパターンの人数などを中心に、曲の仕組みに気付くことが成功のポイントであることを伝える。
展開2 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で合同演奏を行い、ポイントとなる部分を確認する。 ・抽選を行い、無作為に抽出した3グループが演奏発表を行う。 ・再び全員で合同演奏を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習番号Qの部分が、まとめとなる大切な部分であることを伝える。 ・他のグループの演奏を聴く場合には、自分と同じ担当パートを中心に聞くとよいことを伝える。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の授業のまとめとして、アンサンブルの出来具合について自己評価するとともに、授業の感想を記入し、プリントを提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と共に創り上げる活動を通して、音楽の面白さを味わうことができたか、また楽譜を科学的に分析するという、アンサンブルの基本を感得することができたか、生徒の演奏や、プリントの記入内容から確かめる。